



KANDAI

■関大ニュース

NEWS

ウィンタースポーツの 新拠点誕生

関西大学アイスアリーナ竣工記念
オープニングセレモニー開催

昨年10月から高槻キャンパスに建設を進めてきた「関西大学アイスアリーナ」が完成し、7月13日に竣工式と記念のオープニングセレモニーが開催されました。このアリーナは、本学創立120周年記念事業の一環として建設したもので、国際競技規格の通年型アイススケートリンクの設置は日本の大学では初となります。オープニングセレモニーでは、アイスショーやアイスホッケー交流戦が盛大に行われました。



関西大学の歴史に、また新たな1ページが加わりました。テープカットに引き続き、午前10時半から竣工式を挙行。午後2時から始まったオープニングセレモニーでは、森本靖一郎理事長、河田悌一学長のあいさつのもと、来賓代表として祝辞を述べた本学OBの冬柴鐵三衆議院議員から、「関西大学アイスアリーナ竣工記念オープニングセレモニーに寄せて」と題する小泉純一郎内閣総理大臣のお祝いメッセージが読み上げられました。

関係者によるくす玉開きのあと、待望のアイスショーが華やかに繰り広げられました。出場選手紹介、地元ジュニアスケーター(26人)によるグループスケATING、関西の競技会上位選手(9人)によるエキジビションとプログ



ラムが進められ、いよいよ待ちに待ったトップスケーター(10人)によるエキジビション。本学アイススケート部の高橋大輔さん(文学部3年次生)、織田信成さん(文学部2



年次生)、平井絵己さん(経済学部2年次生)、招待選手として出場の村主章枝さん(avex)、安藤美姫さん(トヨタ自動車)、中野友加里さん(早稲田大学)

らが世界レベルの演技を披露。500人を超える観衆の目はリンクに釘付けとなりました。締めくくりは、トップスケーター全員によるグランドフィナーレ。軽快な音楽に乗って、息の合った華麗なダンスが披露されました。そして、最後は出場選手全員がリンク上に揃い、会場内は一段と大きな拍手に包まれました。

氷上整備が行われたあと、今度は雰囲気がガラリと変わって、同志社大学とのアイスホッケー交流戦が行われました。迫力あふれるプレーを目の当たりにして、観客席は一気にヒートアップ。結果は、1対1の引き分けに終わりました。



当日は報道陣も100人以上が詰めかけ、社会の関心の高さがうかがわれました。このアイスアリーナがウィンタースポーツの新しい拠点となり、その振興に大きな役割を果たすことを確信させる一日となりました。

国際競技・公式試合も可能 地域に開かれた施設に――

「アイスアリーナ」は、延べ床面積が3,598.50㎡、スケートリンクは縦60m×横30m。518人収容の観客席に電光掲示板、さらには高性能音響設備や更衣室等も完備。アイスホッケーの国際競技規格を満たしており、フィギュアスケートやスピードスケート・ショートトラックの公式試合開催も可能です。

関西大学や関西大学第一高等学校のクラブが使用することはもちろん、他大学のクラブや近隣の小・中・高等学校の課外行事などに対しても、積極的に開放することになっています。